

成人看護学

専門分野

授業科目	人生の最期を支える看護	講師	氏名	①野口侑巳 ②本田輝子 ③喜多村健 ④百崎真由美 ⑤長谷川杏子	開講年次	2年次 後期	単位・時間 1単位 20時間
			所属	①訪問看護ステーション ②～④病院 ⑤専任教員			
			実務経験	①がん看護専門看護師 ②がん看護専門看護師 ③がん放射線療法認定看護師 ④緩和ケア認定看護師 ⑤臨床看護師			
科目の ねらい	わが国における死因の第1位は癌疾患である。ここでは様々な状況の下に治療困難で、回復の見込みがないと診断された患者のうち、癌疾患により終末期を迎えている成人の看護について理解する。特に個人の権利の尊重と生命の尊厳を中心軸に、現代の癌医療の動向と現状を踏まえながら「告知」や「緩和ケア」の実際と看護の役割を理解する。						
到達目標							
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終末期にある成人の患者の特徴を説明できる。 2. 終末期のさまざまな場面のケアについて説明できる。 3. 臨死期の看護としてエンゼルケアが実施できる。 4. 緩和ケアにおける生命倫理について説明できる。 5. 遺族に対するグリーフケアについて説明できる。 						
思考・ 判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終末期の様々な場面の看護実践を考えることができる。 2. 終末期にある患者・家族の思いを感じることができる。 						
主体的学習 態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な価値観について知り、自己の死生観について考えを述べるができる。 						
科目評価	①定期試験（筆記）80% ②課題（レポート含）20% 合計100%						
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア（メディカ出版）						
参考文献							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	I. 終末期にある成人の特徴 1. 終末期とは 2. 意思決定とコミュニケーション 3. 緩和ケアと生命倫理	○			長谷川杏子	看護学へようこそ 成人看護学総論 倫理学 在宅看護総論 高齢者看護へようこそ 看護倫理	「成人看護学概論」で習得した「健康観」と関連づけて予習する。予習においては、テキストを熟読し、理解できない箇所を明確にする。 テキスト・講義資料を用いて学習した内容を復習し、理解を深める。 事前課題①：「死にゆく人の受容過程」 事前課題②：「倫理原則について」 事前課題③：「人生最期の時を支える看護」
2							
3							
4	III. がん患者の治療と看護 1. 身体症状 ①疼痛の治療と看護 ②鎮痛薬の投与経路 2. 精神症状 3. 社会的ケア 4. スピリチュアルケア	○			野口侑巳		
5	IV. 化学療法を受ける患者の看護	○			本田照子		
6	V. 放射線療法を受ける患者の看護	○			喜多村健		
7	VI. 非がん疾患のケア	○			百崎真由美		
8	VII. 臨死期のケア 1. 臨死期の身体変化 2. 遺族に対するグリーフケア	○					
9	VIII. 臨死期のケア 3. エンゼルケア		○				
10	「死生観」についてグループワークを行い発表	○		○	長谷川杏子		
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。						